

## 01 学校運営協議会制度ってな～んだ？



### 学校と地域住民・保護者が力を合わせて学校運営と地域づくりに取り組むための仕組みです

- 学校運営協議会という「会議」を設置します
- 学校運営協議会の委員は、保護者、地域団体関係者などによって構成され、教育委員会が任命します（保護者、地域コーディネーター、学識経験者、関係学校教職員、関係行政職員、卒業生、社会教育委員、生涯学習推進協議会委員など）
- 教育委員会規則によって設置されます

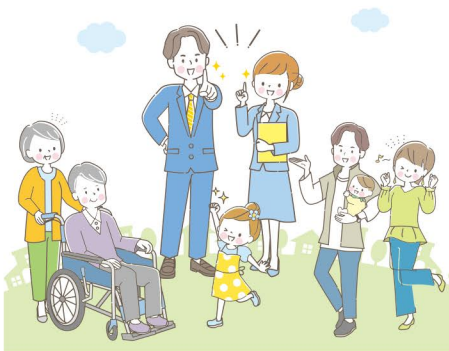


## 02 学校運営協議会制度のスタートで…

日光市内の学校は、今まで以上に「**地域とともにある学校**」になります。

日光市内の学校は、これまでも地域と深いつながりをもって運営されています。「地域とともに歩んできた学校」です。少子化や人口減少にともなう、つながりをより強くしていけるように願いを込めて、「学校運営協議会」を設置します。

それは、まったく新しい会議を設置することではなく、現在、学校に集まっていた、支援していただいている地域の方々にこれからも一緒に関わっていただくためのものです。地域の人たちの、より強いきずなを創るために、「地域の人々と一緒に汗を流し、一緒に子どもと地域の未来を話し合っていく」のが「学校運営協議会」です。



- 地域住民や保護者が「子どもをどのように育てるのか」と「地域のつながりをどのように強めるのか」について、みんなで話し合い、共に汗を流します。
- 学校を核として、地域の住民同士がつながりを強めているこれまでの事業を継続して、より広範囲な人々が参加し、地域全体の活性化に役に立つ学校になります。



学校や子どもたちの教育・育成にかかわる大人を増やす



地域の人のつながりをしっかりとつくる

児童・生徒の生きる力を育む教育活動の充実



学校と地域と一緒に動けば、より楽しくなります



## 03 地域学校協働活動ってな～んだ？



大人と子どもと一緒に地域で人々のつながりを作ったり、強めたりする活動のことです。これまでたくさんやってきました。もっといろいろな人たちが参画できるように工夫します。

- 今まで学校で進めてきた地域との連携による授業や学校行事、学校支援ボランティアなど
- 今まで公民館や自治会で実施してきた活動や学校と連携した事業など



## 04 地域学校協働活動を進めることで…

日光市内の各地域は、今まで以上に**地域の人**が強くつながり、さらに明るく元気な地域になります。

地域学校協働活動は新しい活動ではなく、既に学校や公民館などで行われています。地域の大人と子どもと一緒に考えて、行動して地域のつながりを強くしていく地域学校協働活動は、地域で多様な形、多様な展開で地域ごとに自由に行われています。

学校を含めた地域の皆さんで考えて、新しい活動を創り出すことも良いことですが、まずは、現在実施している「地域学校協働活動がし」を試してみよう。さらに、学校で行われている行事（特別活動※）でも、地域の人々が協力し、参画しながら展開している例も見られます。市内各地で「地域学校協働」を進めている運動会や学習発表会もあります。今していること、これまでやってきたことを大切にしながら展開していくことが必要です。

広い日光市においては、地域づくりも学校づくりも地域によって様々です。歴史、文化、風土、産業など条件は異なり、特色を生かし、その学校や地域でできることが「地域学校協働活動」です。

※特別活動・・・学校教育における望ましい集団活動や体験的な活動を通して、実際の社会で生きて働く社会性を身に付けるなど、児童（生徒）の人間関係形成能力を育む教育活動。内容として、学級活動、児童会活動、生徒会活動、クラブ活動、学校行事がある。

- これまで学校で進めてきた地域との連携による事業や学校行事を続けていきます。
- これまで公民館や自治会で実施してきた活動や学校と連携した事業を続けていきます。
- 学校や地域によって事情が異なるので、様々な活動があります。
- 人口減少が進む中、今やっている活動を来年も続けられるよう工夫していきます。
- 「子どもたちのために。」と一緒に汗を流す仲間を増やしていきます。

### 学校 学校でやるべきことはなにか・・・？

- 新しいことをするのではなく、今やっていることを来年もできるようにする。
- 今やっている特別活動（※）に、地域住民が参画することを検討する。
- 特別活動を丁寧に実施し、地域づくりに参画する力を育てている、という気持ちが高める。
- 地域の青少年事業、学童、児童クラブ、児童館など、子どもの居場所を見学する。

### 学校 学校教職員のはじめの一步は・・・？

- 保護者、地域の方にあいさつをして、顔を合わせて会話をする。そして、互いに共通点を見つけ仲良くなる。
- 保護者や地域の方、ボランティアさんなど、相手の話や思いを丁寧に聞く。
- 学校は子どもが学ぶ場であると同時に、実は地域の大人が学ぶ場であると発想を転換する。
- 地域の未来と子どもの将来のための「教育」をしていると考える。
- 学校だけではなく、子どもは家庭、地域でも学んでいる、という広い考えをもつ。



地域の窓口として、連携、協働に関する情報収集や、地域と学校への情報提供、地域連携に関する連絡調整等を行います。

### 地域 地域でやるべきことはなにか・・・

- 今、大人と子どもと一緒にやっている地域をよくする活動を、来年もできるようにする。
- 子どもたちと一緒に地域で地域を学ぶ。活動する。
- 地域でやっている事業に、もっと子どもがかかわれる部分はないか検討する。
- 学校と一緒にできることを検討する。

### 地域 地域の方のはじめの一步は・・・

- 地域の活動に参加し、地域の子どもの大人に出会う。
- 積極的に、地域の子どもの若者たちに関わる。
- 活動に参加し、直に顔を合わせて話をする。
- 得意なことを生かして、仲間と教え合う。
- 次の活動に知り合いを誘う。

